



事業番号	07 04 03	<b>事業改善シート（令和3年度実施事業分）</b>			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	I T産業振興事業費	部局	産業労働部	課・室	創業・サービス産業振興室			
		実施期間	H27 ～	E-mail	service@pref.nagano.lg.jp			
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)								
8つの重点目標	労働生産性、県民一人当たりの家計可処分所得							
総合的に展開する重点政策	2-1 革新力に富んだ産業の創出・育成			2-6 郷学郷就の産業人材育成・確保				
	2-5 地域に根差した産業の振興			3-7 先端技術の積極的な活用・導入				

## 1 現状と課題

目指す姿 これまでの取組	<b>【目指す姿】</b> Society5.0時代のデジタル社会を担うIT人材・IT企業を集積させ、県内産業のデジタルトランスフォーメーション(DX)を推進  <b>【これまでの取組】</b> ・令和元年9月に信州ITバレー構想を策定、令和2年1月に信州ITバレー推進協議会(NIT)を設立 ・WEB活用によるセミナーや情報交換、大学生対象のIT人材育成事業等を実施 ・情報発信プロモーション事業として「NaganoFledge」を開催				
	令和2年度点検結果(令和元年度実施事業分) 現状分析	<table border="1"> <tr> <th>課 題</th> <th>今後の方向性</th> </tr> <tr> <td>信州ITバレー構想の推進に向けた事業内容の企画、運営をしていく体制の強化が必要。</td> <td>信州ITバレー構想を推進するため自ら企画・実行していくコンソーシアム支援を強化。</td> </tr> </table>	課 題	今後の方向性	信州ITバレー構想の推進に向けた事業内容の企画、運営をしていく体制の強化が必要。
課 題	今後の方向性				
信州ITバレー構想の推進に向けた事業内容の企画、運営をしていく体制の強化が必要。	信州ITバレー構想を推進するため自ら企画・実行していくコンソーシアム支援を強化。				

## 2 令和3年度事業内容

予算のポイント・主な取組(予定)	<b>✓ 信州ITバレー推進協議会運営事業</b> ・構想を推進するため、協議会に専門コーディネータ(2名)を配置し、信州ITバレー推進協議会の運営や情報発信・プロモーションを実施 ・新たなITビジネスを創出するため、地域課題解決や産業DXの推進に取り組む産学官コンソーシアムを活用した連携プロジェクトを支援	  リゾートテレワークの様子(富士見森のオフィス)
	<b>✓ 地方回帰の流れを捉えたIT人材誘致の推進</b> ・信州リゾートテレワークの認知度向上・活用促進に向けた都市圏企業への広報を実施するとともに県内地域のネットワーク形成等を支援(拡充) ・県外IT人材に「おためし」で県内に住んで仕事をする機会を提供(拡充)	

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]						区分(単位:千円)					
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末(見込)	R3年度目標値	事業コスト	前年度繰越	R1年度	R2年度	R3年度	
1	AI・IoT等導入率	0	13.5%	↑	17.5%		↑	0	47,875	62,131	要求 40,633 予算案 124,208
2	「おためしナガノ」移住支援件数	13件	13件	→	12件	↓	0	16,749	22,968		
3	リゾートテレワーク実施者数	33人	231人	↑	200人	↓	0	64,624	85,099	要求 40,633 予算案 124,208	
4								うち一般財源	45,004	35,623	要求 24,400 予算案 113,530
5								決算額(B)	58,360		
								職員数(人)	2.4	3.0	3.0
成果指標設定理由	①県内産業のデジタル化対応の状況を把握する指標として、AI・IoT等導入率を成果目標に設定 ※目標値:「信州ITバレー構想」の推進目標に基づき設定 ②③県内へのIT人材等の呼び込み・集積の指標として、おためしナガノ事業への参加組数及びリゾートテレワーク実施者数を成果目標に設定 ※目標値:過去の実績値以上を設定										

予算要求からの主な変更点	・新たなITビジネスの創出支援により、コロナ禍における企業のデジタル化(ニューノーマル対応)ニーズへの対応と県内産業のDXを推進するため、「信州ITバレー構想推進事業」を増額 ・コロナ禍で高まる地方回帰の流れを捉え、都市部等からのIT人材・企業の呼び込みを図るため、「おためしナガノ2.0事業」「信州リゾートテレワーク推進事業」を増額
--------------	--

事業名	I T産業振興事業費	部局	産業労働部	課・室	創業・サービス産業振興室
-----	------------	----	-------	-----	--------------

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算
1	信州 I T バレー構想推進事業	0 千円	32,088 千円	要求 19,513 予算案 59,293 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	・推進協議会運営事業 ・情報発信・プロモーション事業	委託	・専門コーディネータ(2名)を配置し、信州 I T バレー推進協議会の運営や情報発信・プロモーションを実施 ・構成機関の連携強化 ・WEBサイト等による国内外に対する情報発信
2	コンソーシアム活用型 I T ビジネス創出支援事業	補助金	県内 I T 企業の新たなビジネス創出を促すため、地域課題解決や産業 d X の推進に取り組む産学官コンソーシアムを活用した連携プロジェクトを支援 【補助予定件数：8件、補助総額：40,000千円】

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算
2	おためしナガノ2.0事業	10,544 千円	10,977 千円	要求 10,230 予算案 18,403 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	おためしナガノ2.0事業費補助金	補助金	県外の I T を中心としたクリエイティブ人材・企業が、最大6か月間程度、県内に「おためし」で住んで仕事をする場合に要するオフィス利用料や交通費等の経費を補助 【補助予定件数：20組、補助総額：12,000千円】
2	おためしナガノ2.0事業運営事業	委託	参加者募集に向けた事業 P R、参加者募集・選考等を実施

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算
3	リゾートテレワーク推進事業	37,331 千円	19,066 千円	要求 10,890 予算案 46,512 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	広報事業等	委託	メディアとタイアップした広告や専用ホームページの運用、県内地域のネットワーク形成支援等を実施